

# 「出張需要に期待」

## 4年ぶりの開催に180人

Aカードトップ会



内藤信也社長

独立系ホテルのキヤッチアップポイントカード運営を手掛けるAカードホテルシステム（内藤信也社長、東京都千代田区）は3月12日、東京都内でAカード加盟ホテルを対象に「第26回Aカードトップ会」を開いた。4年ぶりの開催となる同会は、加盟ホテルの経営者や支配人、関係者を含む約180人が参加した。

同社が運営する「Aカード」は、全国の加盟ホテルやレストランを利用するたびにポイントが貯まり、現金に替えられるポイントカード。全国で515店舗が加盟し、会員数は2024年2月末時点で150万人に迫っ

平均では19年比13%増と、19年水準を上回る回復」と述べた。

続けて、加盟ホテルの延べ宿泊者数の推移を基にした、コロナ禍での出張ビジネスマンの宿泊需要について説明。内藤社長は「19年同月比では落ち込んだものの、出張

ビジネスマンはコロナ禍であつても落ち込みが少なくと実証された。24年（1-2月）が19年同期比3%増と、早くも19年水準を上回る好調さを見させている」と語った。

加えて、国内での半導体工場の設備投資計画により建設ラッシュを迎えると述べ、24年はインバウンド（訪日外国人旅行者）客のみならず、出張ビジネスマンの活発な宿泊需要を期待できる年になると考えを内藤社長が

明かした。

トップ会では、恒例のホテル利用動向アンケート結果の公表のほか、ホテル業界が直面している課題の解決に向けた講演が行われた。外部専門家として、ジョブズリサーチセンターの宇佐川邦子センター長を招き、宿泊業の採用と定着について講演。このほか、3つの加盟ホテルがリレー講演として各加盟店独自の取り組み事例を紹介した。

【長谷川 貴人】